戦国時代の武士達は、 風さそ 当時どんな気持ちでこの景色を眺めていたのだろう。





■芦田城跡 別名「木の宮城」ともいわれ、鎌倉・室町時代には 甕氏が、戦国期には芦田氏が居城とした山城。

立科町を美しい自然と心で

天地静大にして



■芦田宿 慶長2年(1597)に設立された 宿場町。本陣をはじめ、旅籠(現 土屋金丸旅館)が現存している。

点想

実際に歩いた 立科町民の

山河流行する 我が愛する郷土 然と心で 次世代に未来永劫に残そう!

